

令和4年度予算の概要

1. 会計別歳入歳出予算の規模 (別表1参照)

一般会計	364億3,179万6千円
(前年度比較)	▲22億1,783万6千円、5.7%減)
特別会計総額(4会計)	202億9,800万1千円
(前年度比較)	2億2,611万2千円、1.1%増)
企業会計総額(3会計)	177億1,043万3千円
(前年度比較)	1億963万5千円、0.6%増)
全会計予算総額	744億4,023万円
(前年度比較)	▲18億8,208万9千円、2.5%減)

《注：企業会計の予算総額は、収益的支出と資本的支出の合計額とした。》

2. 一般会計予算の概要

令和4年度の予算編成にあたりましては、直近に執行されました市長選挙との関係から、人件費、公債費、施設管理費などの経常的経費、及び臨時的経費であっても、継続的で中止や変更が現時点でできない経費などを中心とした通年予算、いわゆる骨格予算として編成した次第であります。

一般会計の予算総額は、364 億 3,179 万 6 千円で、前年度に比較して 5.7%の減少となっております。これは、主に、投資的経費や繰出金が減少したことによるものであります。

それでは、予算の主な内容につきまして、順次ご説明いたします。

① 歳入（別表 2 参照）

それでは、まず歳入についてご説明いたします。

市税は、113 億 5,761 万 7 千円で、前年度に比較して 3 億 5,262 万 2 千円、率にして 3.2%の増加となっておりますが、これは、主に、個人及び法人市民税が増加したことに加え、新型コロナウイルス感染症にかかる軽減措置の終了などにより固定資産税の家屋課税分が増加したことによるものであります。

地方譲与税は、1 億 7,406 万 4 千円で、前年度に比較して 1,892 万 6 千円、率にして 12.2%の増加となっております。

利子割交付金は、1,200 万円で、前年度に比較して 400 万円、率にして 25.0%の減少となっております。

配当割交付金は、6,400 万円で、前年度に比較して 100 万円、率にして 1.6%の増加となっております。

株式等譲渡所得割交付金は、5,000 万円で、前年度に比較して 1,000

万円、率にして25.0%の増加となっております。

法人事業税交付金は、1億2,900万円で、前年度に比較して3,335万1千円、率にして20.5%の減少となっております。

地方消費税交付金は、18億9,800万円で、前年度に比較して1億1,500万円、率にして6.4%の増加となっております。

環境性能割交付金は、3,800万円で、前年度に比較して1,600万円、率にして72.7%の増加となっております。

地方特例交付金は、7,362万6千円で、前年度に比較して1億777万4千円、率にして59.4%の減少となっております。これは、主に、固定資産税等の軽減措置にかかる新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金が皆減となったことによるものであります。

地方交付税は、国の地方財政対策等を勘案して56億4,860万円を計上し、前年度に比較して4億2,018万1千円、率にして8.0%の増加となっております。

交通安全対策特別交付金は、1,400万円で、前年度に比較して80万円、率にして5.4%の減少となっております。

分担金及び負担金は、1億6,293万円で、前年度に比較して3,252万7千円、率にして24.9%の増加となっております。

使用料及び手数料は、3億9,540万7千円で、前年度に比較して407万2千円、率にして1.0%の増加となっております。

国庫支出金は、72億4,896万7千円で、前年度に比較して6億2,459万2千円、率にして9.4%の増加となっておりますが、これは、主に、保育所等整備交付金が増加したこと、及び新型コロナウイルスワクチン接種事業にかかる負担金や補助金が皆増となったことによるものであります。

府支出金は、29億2,264万円で、前年度に比較して1,773万1千円、率にして0.6%の増加となっておりますが、これは、主に、参議院議員通常選挙費負担金が増加したこと、及び障害者自立支援給付費負担金が増加したことによるものであります。

財産収入は、2,506万5千円で、前年度に比較して87万5千円、率にして3.4%の減少となっております。

寄附金は、7億493万円で、前年度に比較して4万5千円、率にして0.01%の増加となっております。

繰入金は、18億5,446万4千円で、前年度に比較して2億4,814万円で、率にして11.8%の減少となっております。これは、主に、庁舎整備基金からの繰入金が増加したことによるものであります。

繰越金は、10万円で、前年度と同額を計上しております。

諸収入は、5億5,295万6千円で、前年度に比較して3,747万8千円、率にして7.3%の増加となっております。

市債は、31億543万円で、前年度に比較して34億7,307万円、率

にして 52.8%の減少となっておりますが、これは、主に、庁舎整備事業債や臨時財政対策債が減少したことによるものであります。

② 歳出の目的別（別表 3 参照）

次に、歳出について目的別にご説明いたします。

第 1 款 議会費

議会費の予算総額は、2 億 6,987 万 7 千円で、前年度に比較して 503 万 3 千円、率にして 1.9%の増加となっております。

第 2 款 総務費

総務費の予算総額は、48 億 7,673 万 2 千円で、前年度に比較して 25 億 7,946 万 4 千円、率にして 34.6%の減少となっておりますが、これは、主に、新庁舎整備事業費が減少したことによるものであります。

第 3 款 民生費

民生費の予算総額は、174 億 1,504 万 2 千円で、前年度に比較して 7 億 5,231 万 4 千円、率にして 4.5%の増加となっておりますが、これは、主に、公立認定こども園改修事業費や民間保育所等整備事業費

が増加したこと、及び新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費が皆増となったことによるものであります。

第4款 衛生費

衛生費の予算総額は、36億5,801万円で、前年度に比較して2億1,523万4千円、率にして6.3%の増加となっておりますが、これは、主に、岸和田市貝塚市清掃施設組合負担金が減少したものの、新型コロナウイルスワクチン接種事業費が皆増となったことによるものであります。

第5款 労働費

労働費の予算総額は、2,324万1千円で、前年度に比較して63万5千円、率にして2.7%の減少となっております。

第6款 農林水産業費

農林水産業費の予算総額は、2億7,873万3千円で、前年度に比較して902万円で、率にして3.3%の増加となっておりますが、これは、主に、ほの字の里管理事業費が皆減となったものの、土地改良施設整備事業費が増加したことによるものであります。

第7款 商工費

商工費の予算総額は、1億9,510万8千円で、前年度に比較して4,614万8千円、率にして19.1%の減少となっておりますが、これは、主に、中小企業制度融資事業費が減少したことによるものであります。

第8款 土木費

土木費の予算総額は、28億1,062万4千円で、前年度に比較して5億2,466万8千円、率にして15.7%の減少となっておりますが、これは、主に、道路新設改良事業費が増加したものの、JR東貝塚駅バリアフリー化整備推進事業費が皆減となったこと、及び市営住宅官民連携事業費が減少したことによるものであります。

第9款 消防費

消防費の予算総額は、12億8,911万7千円で、前年度に比較して2億3,582万1千円、率にして22.4%の増加となっておりますが、これは、主に、新庁舎防災設備構築事業費や避難所空調設備整備事業費が皆増となったことによるものであります。

第10款 教育費

教育費の予算総額は、30億1,025万3千円で、前年度に比較して

3億6,547万9千円、率にして10.8%の減少となっておりますが、これは、主に、中学校屋内運動場空調設備設置及び照明LED化事業費が皆増となったものの、小学校にかかる同事業費が皆減となったことによるものであります。

第11款 公債費

公債費の予算総額は、25億9,019万9千円で、前年度に比較して8,113万7千円、率にして3.2%の増加となっております。

第12款 諸支出金

諸支出金の予算総額は、486万円で、前年度に比較して1千円、率にして0.02%の減少となっております。

第13款 予備費

予備費の予算総額は、1,000万円で、前年度と同額を計上しております。

③ 歳出の性質別（別表4参照）

次に、歳出について性質別にご説明いたします。

人件費につきましては、前年度に比較して173万6千円の増加と

なっておりますが、これは、主に、退職手当が減少したものの、給料が増加したことによるものであります。

物件費につきましては、前年度に比較して 5 億 765 万円の増加となっておりますが、これは、主に、新型コロナウイルスワクチン接種事業費が皆増となったこと、及び塵芥収集事業費が増加したことによるものであります。

維持補修費につきましては、前年度に比較して 2,214 万 4 千円の減少となっておりますが、これは、主に、河川維持補修事業費が減少したことによるものであります。

扶助費につきましては、前年度に比較して 2,042 万 9 千円の減少となっておりますが、これは、主に、障害者自立支援給付事業費や保育所等支援事業費が増加したものの、児童手当給付事業費や児童扶養手当給付事業費が減少したことによるものであります。

補助費等につきましては、前年度に比較して 8,111 万 5 千円の減少となっておりますが、これは、主に、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費が皆増となったものの、岸和田市貝塚市清掃施設組合負担金や下水道負担金が減少したことによるものであります。

投資的経費につきましては、前年度に比較して 25 億 5,850 万 9 千円の減少となっておりますが、これは、主に、中学校屋内運動場空調

設備設置及び照明LED化事業費が皆増となったものの、新庁舎整備事業費が減少したこと、及び小学校屋内運動場空調設備設置及び照明LED化事業費が皆減となったことによるものであります。

公債費につきましては、前年度に比較して8,113万7千円の増加となっております。

積立金につきましては、前年度に比較して42万6千円の減少となっております。

繰出金につきましては、前年度に比較して8,637万6千円の減少となっておりますが、これは、主に、国民健康保険事業への特別会計繰出金が減少したことによるものであります。

貸付金につきましては、前年度に比較して3,936万円の減少となっております。

予備費につきましては、前年度と同額を計上しております。

3. 国民健康保険事業特別会計予算の概要

予算総額は、102億2,700万2千円で、前年度に比較して5,319万6千円、率にして0.5%の増加となっておりますが、これは、保険給付費等が増加したことによるものであります。

4. 財産区特別会計予算の概要

予算総額は、9億2,180万5千円で、前年度に比較して3,103万9千円、率にして3.3%の減少となっております。

5. 介護保険事業特別会計予算の概要

予算総額は、78億7,000万1千円で、前年度に比較して1億5,190万5千円、率にして2.0%の増加となっておりますが、これは、保険給付費等が増加したことによるものであります。

6. 後期高齢者医療事業特別会計予算の概要

予算総額は、12億7,919万3千円で、前年度に比較して5,205万円、率にして4.2%の増加となっておりますが、これは、後期高齢者医療広域連合納付金等が増加したことによるものであります。

7. 水道事業会計予算の概要

収益的収支につきましては、収入において、受託工事収益の減少等による営業外収益の減少を見込むものの、給水収益の増加等により、前年度と比較して1億156万4千円、率にして5.2%の増加を見込み、支出では、企業債利息の減少等を見込むものの、動力費や減価償却費の増加等により、前年度と比較して1,673万円、率にして0.8%の増

加を見込んでおります。以上により、収支差引額は5,158万5千円の赤字となるものの、前年度と比較して8,483万4千円減少する見込みであります。

資本的収支につきましては、収入において、主に企業債の減少により、前年度と比較して3,651万4千円、率にして9.7%の減少を見込み、支出では、企業債償還金が増加するものの、整備事業費の減少等に伴う建設改良費の減少により、前年度と比較して1億2,799万円、率にして12.5%の減少を見込んでおります。以上により、収支差引額は、5億6,082万3千円の不足となり、前年度と比較して9,147万6千円不足額が減少する見込みであります。

8. 下水道事業会計予算の概要

収益的収支につきましては、収入において、雨水処理負担金の減少を見込むものの、下水道使用料、他会計補助金等の増加により、前年度と比較して1,060万3千円、率にして0.4%の増加を見込み、支出では、減価償却費等の増加を見込むものの、流域下水道維持管理負担金、企業債利息等の減少により、前年度と比較して1,373万6千円、率にして0.6%の減少を見込んでおります。以上により、収支差引額は、6,500万7千円の黒字となり、前年度と比較して2,433万9千円増加する見込みであります。

資本的収支につきましては、収入において、他会計出資金、工事負担金等の減少により、前年度と比較して1,951万2千円、率にして0.8%の減少を見込み、支出では、ポンプ場建設改良費、企業債償還金等で減少を見込むものの、管路建設費、流域下水道建設負担金の増加により、前年度と比較して4,079万2千円、率にして1.3%の増加を見込んでおります。以上により、収支差引額は、8億9,033万6千円の不足となり、前年度と比較して6,030万4千円不足額が増加する見込みであります。

9. 病院事業会計予算の概要

収益的収支につきましては、新型コロナウイルス患者への対応が継続するものとして予算計上しております。収入においては、新型コロナウイルス感染拡大による受診抑制が徐々に緩和されつつあると見込み、病院全体の病床利用率は、令和3年度の72.0%に対して、73.6%と想定し、入院収益は、前年度と比較して1億5,802万9千円、率にして4.2%の増加を見込んでおります。また、外来収益については、前年度と比較して166万4千円、率にして0.1%の増加を見込んでおります。しかしながら、医業外収益に係る他会計負担金が、前年度と比較して1億1,257万6千円、率にして27.5%の減少、過去の繰入金不足による長期前受金不足額が解消したことにより、特別利益が、

1億5,403万5千円の皆減となったこと等により、収入全体では、前年度と比較して9,789万4千円、率にして1.3%の減少を見込んでおります。なお、新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関に対する空床補償補助金につきましては、令和3年度予算と同様、現時点において令和4年度の交付要綱が示されていないことから、補助金収入は見込んでおりません。

支出では、常勤医師や看護師の増員による給与費の増加、報償費、委託料などの経費の増加等により、前年度と比較して1億8,296万2千円、率にして2.4%の増加を見込んでおります。以上により、収支差引額は、4億7,586万3千円の赤字となり、前年度と比較して2億8,085万6千円、赤字額が増加する見込みであります。

資本的収支につきましては、収入において、企業債の減少などにより、前年度と比較して9,272万4千円、率にして10.5%の減少を見込み、支出では、建設改良費の減少を見込むものの、企業債償還金の増加により前年度と比較して1,087万7千円、率にして0.9%の増加を見込んでおります。

以上により、収支差引額は、3億8,513万8千円の不足となり、前年度と比較して1億360万1千円、不足額が増加する見込みであります。